

### Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.3 スペイン語担当 川向さん

#### ◆なぜ医療通訳者になった？

偶然知り合いになったペルー人の女性が妊娠したため、頼まれて妊婦健診に同行するうちに、彼女の友達やその家族など次々に病院への同行通訳を依頼されるようになり、気づけば手術前の説明まで通訳する羽目になっていました。しかし、全く単語がわからず、悔しい思いをしたので、一念発起してある病院の国際診療科でボランティア通訳をしながら勉強をさせてもらったのが始まりです。

#### ◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは？

<sup>けいりゅう</sup>稽留流産で手術を受けることになった女性の通訳をした時に、ご主人が次々に質問をされました。聞くところによると、以前、彼らの10歳の娘さんが盲腸だと思って入院したのに1週間たっても退院できず、結局、病名も治療法もわからないまま、1か月後に退院したとのこと。「その時は通訳がいなかったので仕方がなかったが、今回は通訳者がいて、すべて納得したうえで治療を受けられるので安心だ。」と言われたことです。

#### ◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

語学力を高めるため、スペインの医療ドラマなどを見て、医療単語を聞き取る練習などを行っています。日本の医療ドラマを見ている時も、知らず知らずのうちに聞こえてくる医療単語を訳している自分がいて、苦笑しています。また、患者さんが少しでもリラックスできるように、パソコンの横に鏡を置いて、怖い顔になっていないか、時々チェックしながら画面に向かっていきます。



### ちょっと一言 それって何て言うの？

「マスクを着用してください。」

英語「Please wear a mask.」

中国語「请戴口罩。」(チンダイコウジヤ)

ベトナム語「Xin hãy đeo khẩu trang ạ.」  
(シンハイデオカウチャンア)

スペイン語「Póngase la mascarilla, por favor.」  
(ポンガセラマスカリジャ、ポルフアウオル)

ポルトガル語「Use máscara, por favor.」  
(ウゼ マスカラ、ポルフアウオル)



### 今月のトピックス

#### 「医療通訳者のトリセツ」

～医療通訳者を上手に使っていただくために～



#### 【トリセツ1】機能（医療通訳者ってどんな性格？）

- ・話し好き、好奇心旺盛
- ・楽天的、だけど几帳面
- ・困っている人を放っておけない！

#### 【トリセツ2】禁忌（医療通訳者の苦手なこと…）

- ・早口、小さな声での会話  
(最近ではマスク越しの場面も多く、聞き取りづらいことも…)
- ・切れ目のない、長～いお話
- ・遠回しな言い方  
「～ではないというわけではない」これって、どっち？

#### 【トリセツ3】機能をさらに高めるために

遠隔通訳では、先生や患者さまのお顔がよく見えると通訳もスムーズです。写真や図などで説明される場合は、通訳者にも見せていただくと助かります。また画面に映った「この人は誰？」のような事態に陥ると、機能を発揮するのが難しくなります。患者さまのことや診療料など、少しでも情報を与えてください。難易度の高い説明の場合は、事前情報をいただけるとしっかり準備が出来てより効果が上がります。以上、きっとお役に立てるかと思えます😊

#### \*ひとつ笑い話を\*

患者さまも画面の向こう側に映っている人が誰なのかわからないことがあるようです。通訳者であることをご挨拶する前に、「先生、先生、私は…」と怒涛のように症状を話し出されてビックリ！「お医者さんじゃないんです…」のひと言がなかなか伝えられず困りました ^^

